

レジデントアーティストオーディション 参加申込書

申込締切日 2019年2月15日(金) 当日必着

ふりがな 個人名 (グループの場合は代表者氏名)	性別	男・女	年齢
団体名 ※団体でお申込される場合は、ご記入ください。	楽器 (編成)		
住所			
連絡先			
自宅電話:	E-mail (PC):		
携帯電話:	E-mail (携帯):		
これまでのご自身 (グループ) による音楽経験・経歴を簡単にご記入ください。			
オーディションに関する事前調査 演奏予定曲目 ・ ピアノ使用の有無 ・ 伴奏者の有無 (伴奏者はご自身で手配してください)			

※上記個人情報は、レジデントアーティストオーディション連絡用のみに使用し、他の使用目的、第三者への譲渡・閲覧等には使用しません。

承諾事項

記録用に主催、協力団体が音声録音、動画・写真の撮影を行う場合があります。主催・協力団体は、活動を紹介する目的で参加者の写真/映像/コメントを使用する場合がございます。これは、主催・協力団体の出版物、ウェブサイト、広報資料、SNS チャンネル (Twitter、Facebook など) に参加者の写真/映像/コメントを掲載する可能性が含まれます。

上記、記録録音、撮影について承諾します。

年 月 日 署名

※センター職員記入箇所

受付日	担当者
-----	-----

お申込・お問合せ先

▶ 郵送にてお申込下さい

豊中市立文化芸術センター「レジデントアーティスト係」

〒561-0802 大阪府豊中市曾根東町 3-7-2

▶ お問い合わせ先 WEB サイト <http://www.toyonaka-hall.jp/>

豊中市立文化芸術センター チケットオフィス (10:00-19:00 月曜休館) Tel. 06-6864-5000

豊中市立文化芸術センター
レジデントアーティスト
アートコーディネーター
育成事業



地元アーティスト育成

レジデントアーティスト第1期生 募集のお知らせ

とよなか ARTS ワゴンとは

豊中市立文化芸術センターでは、2019年度よりレジデントアーティストとアートコーディネーターの育成を目的とした人材育成事業「とよなか ARTS ワゴン」をスタートさせます。本事業は、各種アートマネジメント講座や研修、市内各所へのアウトリーチや、センター主催公演への参加を通して「豊中に根ざした、豊中を代表するアーティスト、コーディネーター」の育成を目的としています。本事業を始めるにあたり、レジデントアーティスト第1期生 (期間: 2年) の募集 (オーディションによる選考) を行います。

文化芸術センターと一緒に、音楽を豊中に住む様々な人たちに届けませんか?

豊中で活躍の場を探す若いアーティストの皆様と一緒に、生の音楽体験を豊中の様々な地域に届けるアウトリーチ事業を中心に、豊中市立文化芸術センターで行われるイベントにも出演していただけます。また、2年間のレジデント期間修了後は、「とよなかアーティストバンク」に登録し、活躍の場を広げていきます。もちろん、経験豊富な講師による研修を受けていただけます。

音楽を豊中に届けたいアーティストの皆様のお応募をお待ちしております。

レジデントアーティストオーディション

2019年 3月5日(火) 15:00 ~

会場: 豊中市立文化芸術センター 中ホール (アクア文化ホール)

《レジデントアーティスト オーディション募集要項》

● レジデントアーティストの目的

- ・市民と交流を深めながら豊中で活動するアーティストとして様々なイベントに出演する
- ・アウトリーチへの知識・経験を習得し、豊中市内の様々な場所に音楽を届ける
- ・コンサート/ワークショップの企画・制作を考え、実演する
- ・地域社会が求めている文化芸術に対してどう関わっていくのか考える
- ・豊中の地で活動できる場をつくりだし、これからの活動につなげていくこと

【レジデントアーティストの活動内容】

アートマネジメント講座への参加、市内へのアウトリーチ活動、文化芸術センター主催公演への出演 他

● 応募条件

【応募資格】

豊中市在住・出身または通勤通学している音楽家で、プロまたはプロとして活動を始めようとしている方、もしくは団体（最大3組）。センターが指定するイベントにすべて参加できる事。

▶2019年4月1日現在 満20歳以上満35歳以下。

▶音楽のジャンルは問いません。但し、ソロないし5名までのアンサンブルの範囲内。

【活動期間】

2019年4月から2021年3月末まで。期間終了後は「とよなかアーティストバンク」へ登録されます。

【参加料】

オーディション参加料は無料です。ただし、会場までの交通費や宿泊費、共演者への謝礼、その他一切の経費については自己負担となります。

【レジデントアーティスト謝礼】

レジデントアーティストとして活動していただく際、謝礼金として年¥300,000（消費税込）/年を該当年度末にお支払いいたします。この金額には研修・ミーティング・実演それらの準備に関わる経費を含みます。また、この謝礼金とは別に「こどもクラシックの日2020」への出演料もお支払いいたします。

※謝礼金は、個人であってもグループであっても同額です。

● オーディションについて

■一次選考（書類審査）

募集要項裏面の申込用紙に必要事項を記入の上、**2019年2月15日（金）必着**で郵送にてお送りください。

選考の結果は、2月20日以降に書面にて通知いたします。通過者には併せてオーディションの詳細をお送りいたします。

■二次選考（演奏審査）

書類審査合格者を対象に行います。10分程度の演奏プレゼンテーションを行っていただきます。その際、数点審査委員から質問がある場合がございます。

可否の結果発表は、3月20日頃に書面にて発表予定です。

◆選考にあたって

音楽の技術的な部分はもちろんの事「①地域の人々に音楽を届けるために様々な取り組みができる」「②地域の方々とコミュニケーションをとる事ができる」「③地域とのアートを結び付けるアイデアがある」の点についても考慮して選考します。なお、合否理由についてはお答えいたしかねます。

審査委員：菱川浩二（本事業プログラムディレクター）、西村理（大阪音楽大学 音楽学准教授）、朝倉祥子（当センター総合館長）

《レジデントアーティスト 選考から活動（1年目）の流れ》

2019年

【選考期間】	
2月15日	応募締切（当日必着）
2月20日以降	書類選考結果通知
3月5日	2次選考（演奏による審査） 会場：豊中市立文化芸術センター 中ホール（アクア文化ホール）
3月20日頃	2次選考結果通知
【第1期 研修】	※会場はすべて文化芸術センター内施設
4月20日	オリエンテーション 会場：ミーティングルーム
5月18日	アートマネジメント講座①「文化事業とはなにか」 会場：音楽室
5月25日	アートマネジメント講座②「クラシック音楽と現代社会の関係性」 会場：音楽室
6月8日・9日	アートマネジメント講座③④「アートと地域の関係性を考える」 会場：ミーティングルーム
7月20日	アートマネジメント講座⑤「アウトリーチ 実演とその分析」 会場：多目的室
【第2期 計画・制作・実演Ⅰ】	※会場はすべて文化芸術センター内施設
9月4日～7日	自分たちのアウトリーチをつくる 会場：練習室2 他
10月中	アウトリーチ ランスルー 会場：調整中
11月末予定	豊中市内アウトリーチ活動（各グループ1回） 会場：調整中
12月中旬	反省と分析～「こどもクラシックの日」2020 イベント内容企画（予定） 会場：ミーティングルーム

2020年

【第3期 計画・制作・実演Ⅱ】	※会場はすべて文化芸術センター内施設
1月中	「こどもクラシックの日2020」ブラッシュアップ 会場：ミーティングルーム
3月29日	「こどもクラシックの日2020」出演 会場：小ホール/多目的室
3月末	1年間のレポート提出

2年目の活動は、アウトリーチ/リサイタル公演への出演を中心に1年目の内容を鑑みて決定いたします。

《オーディション審査委員について》

菱川浩二

1973年生まれ。流通企業から転身し文化施設の運営に携わる。地域公民館から自然体験宿泊施設、広報制作、ホール事業制作、マネージャー業務、指定管理者制度対策担当等、文化施設に関わる数多くの業務を経験。その中で、市民自立型文化活動システムの構築、購買層を広げる地域サロンコンサート「歩いていける音楽会」、全年齢層に対してのアウトリーチプログラム開発など、斬新な文化事業のカタチをつくりあげた。統括責任者として長年籍を置いた多治見市文化会館では県内初の総務大臣賞を受賞。また、アウトリーチアーティストの人材育成事業にも関わっており、2016年には（一財）地域創造の公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム広島セッションコーディネーターを務めた。他にも施設運営の業務改善研修や指定管理者制度のコンサルティングを行うなど活動の幅は広い。桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

著書に『指定管理者は今どうなっているのか』（共著、水曜社）

西村理

1972年生まれ。国立音楽大学卒業。東京藝術大学大学院博士後期課程およびウィーン国立音楽大学博士課程で学ぶ。博士（音楽学）。現在、大阪音楽大学准教授。主たる研究領域は20世紀初頭のウィーンおよび大阪の音楽文化。NHK交響楽団編集協力を務め、そのなかで音楽と現代社会との関係について考えるようになる。大学では西洋音楽史関連の授業のほか、ミュージックコミュニケーション専攻で企画運営についても教えている。著書・監修に『よくわかるクラシックの基本』（西東社）ほか。

朝倉祥子

桐朋女子高等学校音楽科（音楽理論専攻）を経て、桐朋学園大学（管楽器、オーボエ専攻）を卒業。卒業後1年間ロンドンに留学し、その後、1979年ヴィエール・フィルハーモニック（現・関西フィルハーモニー管弦楽団）に入団。32年間、首席オーボエ奏者を務める。2011年より相愛大学に非常勤講師として勤務。2011年、演奏職を退き事務局長に就任。自主公演制作や関西フィルヨーロッパ公演の企画、実施など楽団運営に携わる。2016年12月、関西フィルハーモニー管弦楽団を定年退職。

2017年1月より豊中市立文化芸術センター総合館長に就任。